

デジタル デンチャー セミナー

これからのデンチャー 製作テクニック



2023
7/9 日 10:00-16:30

会場 北とぴあ 701会議室
〒114-8503 東京都北区王子1-11-1

定員 35名 **受講費** 9,900円
(税込・昼食込)

近年、デジタルマテリアルの発達により様々な技工物が従来のアナログでの製作からデジタルでの製作へと転換しています。特に、クラウンの分野においてはデジタルでないと製作できないものが増えてきています。今後、口腔内スキャナーの普及に後押しされ、デジタルデータのみでの技工物製作が当たり前になってくる中で、デンチャーの分野においてもそれは例外ではありません。本セミナーでは、すでに臨床ケースにおける保険または自費のデンチャー製作を、デジタルに行っている5名の演者をお招きし、その経験をお話頂きます。

講演スケジュール

10:00~11:00

『デジタルフルデンチャーの可能性』

キキュウ・デンタル・スタジオ 亀遊 宏直 先生

昨今の歯科界はデジタル化が進んでいるが、義歯のデジタル化はいまだ発展途上である。しかし、デジタル化を進めることで一度製作したデータを使用し、同一の補綴物を即座に作り出せるメリットがある。そこで設計、3Dプリント、ミリングデンチャー、セットまでのケースをご紹介します。

11:00~12:00

『総義歯製作のデジタル化 現状の臨床と課題』

株式会社シンワ歯研 野澤 康二 先生

3Dプリンターとミリング加工機を使用した総義歯製作では従来のコンベンショナルな技工操作と異なる製作工程のステップを理解して最終義歯に必要な条件、情報を踏襲しなければならない。今回は技工操作やデザイン時の注意点など、臨床で必要とされる義歯設計への対応方法と課題について紹介する。

12:40~13:40

『デジタルワークフローによる次世代パーシャルデンチャー』

株式会社横浜トラスト歯科技工研究所 鈴木 啓太 先生

近年の歯科界では、クラウン・ブリッジ分野においてCAD/CAM工程による製作プロセスが一般的になっている。弊社では義歯分野においても、金属床義歯と鈎歯となるサバイドクラウンをデジタルワークフローによって製作している。今回は実際の臨床ケースを中心に報告させていただく。

13:40~14:40

『デジタル技工で注意が必要な症例とデータ』

株式会社協和デンタル・ラボラトリー新松戸 今田 裕也 先生

現在弊社では義歯のデジタル化によって作業効率、精度が上がり、技工士の生活環境が大きく向上している。その流れを加速させるため、一時期すべてをデジタルで行うことを考えたが、なかなか思うようにはいかないケースもあった。今回は当時の経験と、対策も踏まえデジタルの注意点を発表させていただく。

14:40~15:40

『明日から使えるプリンター活用法』

～3Dプリンターによる維持装置製作のポイントについて～

有限会社小澤デンタルラボラトリー 小澤 謙太 先生

3Dプリンターによる維持装置製作について皆さんは、どんなイメージがあるだろうか？今回、プリンター導入してから今に至る経緯と実際の臨床の経験をもとに、日常のプリンター活用のポイントをお話したいと思う。皆さんの明日からの臨床に是非活用していただきたい。

お申し込み方法

必ず、参加申込書に必要事項をご記入の上、郵送またはFAXでお申し込みください。申込確認後、必要書類をお送りします。参加申込書の受取後に参加費の入金を確認し、先着順に受付とさせていただきます。※恐れ入りますが振込手数料は、各自ご負担願います。尚、参加費の返金はご容赦願います。

申込先

株式会社デンタリード (担当:森下)
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-11 クロスタ12F
TEL.03-5217-0353 FAX.03-5217-0366

協賛 エア・ウォーターグループ
デンケン・ハイデンタル株式会社 株式会社 デンタリード

株式会社デンタリード 行 デジタルデンチャーセミナー 参加申込書

お名前(フリガナ)	<input type="checkbox"/> 歯科医師 <input type="checkbox"/> 歯科技工士	医院名 / 技工所名
所在地 (〒 -)	<input type="checkbox"/> ご自宅 <input type="checkbox"/> お勤め先	
TEL	FAX	
Mail	お取引店	

ご記入いただいたお申し込み情報は個人情報保護法に準じ厳密に取り扱いたします。